

# 第一一六回 幻住庵俳句コンクール



審査結果 令和五年八月 幻住庵保勝会

## 選者 吉永 幸司(俳人協会)

特選 揚げ花火闇をつかんで崩れ落つ  
草津市若草三 井上 次雄

入選 山門の仁王の目玉風薫る  
大津市柳川一 丸岡 正男

入選 青葉道辿りて階へ幻住庵  
横須賀市追浜東町 佐藤 滋子

入選 噴水の一途と言ふも切なけれ  
岡山県石磐市 杉本征太之進

佳作 幻住庵門一様の青楓  
岡山市南区 高木 幸子

佳作 初蟬の申し合せたやうな今朝  
高槻市高垣町 四方よね子

佳作 山門立てば風あり青楓  
大津市柳川一 圓井 公子

佳作 波起し外輪船が出づる夏  
大津市田辺町 山田 和義

佳作 その先の先まで続く青田かな  
大津市栄町 森本 和子

佳作 叡山に一直線の青田風  
大津市柳川一 丸岡 正男

佳作 蛭籠大事に持つて、バスを待  
大津市柳川一 丸岡 正男

佳作 スリッパの音の重たき梅雨湿り  
高槻市高垣町 四方よね子

佳作 風に乗る洗ひ髪の香虫の夜  
草津市若草三 井上 次雄

佳作 連綿と古都に引き継ぐ夏祭  
大津市栄町 森本 和子

## 撰者 志村 宣子(現代俳句協会)

特選 初蛭夫に越されてしまひけり  
大津市光が丘町 大槻 善恵

入選 生還の父の飛び入り踊の輪  
大津市石山寺三 小野 寛

入選 湖の霞集めて幻住庵  
岡山市中区 オカザキタダヨシ

入選 幼児の長めの合羽梅雨深し  
草津市若草三 井上 次雄

佳作 金魚鉢先にそろえて夜店かな  
大津市栄町 竹山 進

佳作 竹箒十本庵の梅雨晴間  
高槻市別保本町 山尾 扶美

佳作 滝口落ちし水面へ夏の鯉  
枚方市香里ヶ丘 中川 漲蔵

佳作 梅雨の灯をともし床の間芭蕉像  
宝塚市清荒神 谷添 睦子

佳作 まずチヨキを出す子二人の夏休み  
京都市伏見区 本西 一代

## 選者 小林 紀夫(大津市俳句連盟)

特選 スリッパの音の重たき梅雨湿り  
高槻市高垣町 四方よね子

入選 揚げ花火闇をつかんで崩れ落つ  
草津市若草三 井上 次雄

入選 沼ひとつ包み残して山若葉  
草津市若草三 井上 次雄

入選 その中に句友もいたり山若葉  
大津市里六 宮崎 正子

佳作 清流の音に目覚めし帰省かな  
大津市柳川一 丸岡 正男

佳作 出前バイク街駆けていく梅雨晴間  
摂津市南千里五 河野 善江

佳作 初蛭夫に越されてしまひけり  
大津市光が丘町 大槻 善恵

佳作 いつまでも童顔なりし帰省の子  
大津市石山寺三 小野 寛

佳作 のけぞりて脚を引き抜く蟬の羽化  
草津市若草三 井上 次雄

## 撰者 馬場民代(幻住庵保勝会)

## 選者 山田 鳴子(日本伝統俳句協会)

特選 潔よく捨ててさみしき更衣  
大津市里六 宮崎 正子

入選 隠り居のファッションショーや更衣  
摂津市南千里五 河野 善江

入選 生還の父の飛び入り踊の輪  
大津市石山寺三 小野 寛

入選 鍵いらぬ生家の昭和つばくらめ  
大津市里六 宮崎 正子

特撰 満蒙の荒野に果てし墓洗ふ  
大津市石山寺三 小野 寛

入選 蛭籠大事に持つて、バスを待つ  
大津市柳川一 丸岡 正男

入選 辛い日々なかなか暮れず夜明け早や  
宇治市小倉町 伊豆 益一

入選 星が飛んで若き命の計報きく  
大津市栄町 森本 和子

佳作 清流の音に目覚めし帰省かな  
大津市柳川一 丸岡 正男

佳作 金魚鉢先にそろえて夜店かな  
大津市栄町 竹山 進

佳作 スリッパの音の重たき梅雨湿り  
高槻市高垣町 四方よね子

佳作 うらおもてあり紫蘇の葉も言の葉も  
大津市別保二 田中 文子

佳作 この虹に端は君住む余呉の湖  
大津市里六 宮崎 正子